

令和7年1月14日

京都市立芸術大学
美術学部長 森野 彰人
美術研究科長 礪波 惠昭
(公印省略)

教員の公募について

このたび、京都市立芸術大学美術学部・大学院美術研究科では、下記の要領において専任教員を公募いたします。

記

1 担当内容

彫刻実技

- (1) 学部：『彫刻基礎A・B』、『彫刻専攻実技』、『総合基礎実技』、『テーマ演習』
- (2) 大学院修士課程：『彫刻研究 1～4』、『特殊演習 1～4』
- (3) 大学院博士（後期）課程：『研究領域研究指導』、『領域研究演習』、『総合制作・理論演習』、『造形計画論研究』
など

2 職名・人員

講師又は准教授 1名（女性）

3 給与

講師：年収 550万円～

准教授：年収 600万円～

- ※ 上記は、年2回の賞与を含んでいます。
- ※ 職歴等がある方は、その職歴等に応じて金額が決定されます。
- ※ このほか、扶養手当、通勤手当などがそれぞれの支給条件に応じて支給されます。

4 応募条件

- (1) 彫刻の伝統的な素材を扱う幅広い技術を有し、それを活用して社会性を持った多様な創作活動を行っている人
- (2) 美術に関する幅広い知識を持ち、それを教育の現場で実践的に学生や他領域と共有できる人
- (3) 研究、教育のみならず、学内運営業務を積極的に行える人
- (4) 日本語で教育指導・運営業務が可能な人
- (5) ダイバーシティの推進に積極的に関われる人
- (6) 採用後、通勤可能な範囲に居住する人

5 提出書類等

- (1) 提出物一覧表
- (2) 賞罰欄のある履歴書（押印・写真の貼付は必要ありません）
履歴書の賞罰欄には、刑事罰のみでなく、学生に対するセクシュアルハラスメント・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、その原因となった具体的な事由を記入してください。未記入や虚偽記載が判明した場合には、経歴詐称として採用取消や懲戒解雇等の対象となることがあります。
- (3) 履歴に関する確認書（本学書式をダウンロードしてください）
<https://www.kcua.ac.jp/wp-content/uploads/0f54e12e34d9f8fa9ca5960018da0e6b.pdf>
- (4) 最終学校の卒業又は修了証明書（写し可）
- (5) 業績目録
- (6) 過去5年以上にわたる活動記録、並びに著書、論文等又はその写し
- (7) 本学における彫刻での教育・研究についての抱負を述べた文章（A4用紙1枚程度）
- (8) 日本国内からの応募の場合、ゆうパックや宅配便等の着払い用の送付状（届け先の欄に資料の返送を希望する住所・氏名・電話番号を記入のこと）

※ 提出書類等は、日本国内からの応募の場合は選考終了後に返却しますが、日本国外からの応募の場合は返却しません。

6 面接

書類選考通過者には面接を実施します。（面接の旅費等は自己負担となります）

- ※ 状況によっては、インターネットを利用した面接になることもあります。
- ※ 日本国外に居住する応募者には、インターネットを利用した面接を行います。

7 提出期限

令和7年3月31日(月)必着(書留又は宅配便など、配達確認が可能な方法。持参は不可)

8 採用予定日

令和8年4月1日(内定は、令和7年6月下旬頃を予定しています)

9 書類提出先

〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1

京都市立芸術大学 美術学部長宛 (封筒等の表に「彫刻実技教員応募」と朱書のこと)

※ 社会状況により国際郵便等の送付が困難な場合は以下に相談すること。

10 問合せ先

京都市立芸術大学事務局教務学生課(美術教務担当)

電話:075-585-2002

E-mail: fineart*kcuu.ac.jp (*を@に変えてください)

11 その他

- (1) 本学部・研究科では、男女共同参画社会基本法の主旨に則り、教員の多様性の確保が必要と考え、女性専任教員の比率が低い専攻については、女性教員の採用を積極的に進めています。今回の公募はこれに該当するものと判断し、女性限定で採用を進めます。

「専任教員採用人事における女性教員採用にかかるポリシー」

<https://www.kcuu.ac.jp/wp-content/uploads/3d2243c8ecfa24f0414f1625adaba13d.pdf>

- (2) 提出書類等は採用事務にのみ使用し、その他に使用することはありません。
- (3) 採否の結果については、文書又はメールで応募者に通知します。
- (4) 本学の情報は、ホームページ (<https://www.kcuu.ac.jp/>) を御覧ください。